

市民助け合いネット

# 仲間通信

【第27号】

発行

NPO法人  
市民助け合いネット

代表 片岡 興一

〒270-0121 流山市西初石4-370-93

TEL・FAX 04-7153-5733

平成25年11月現在の

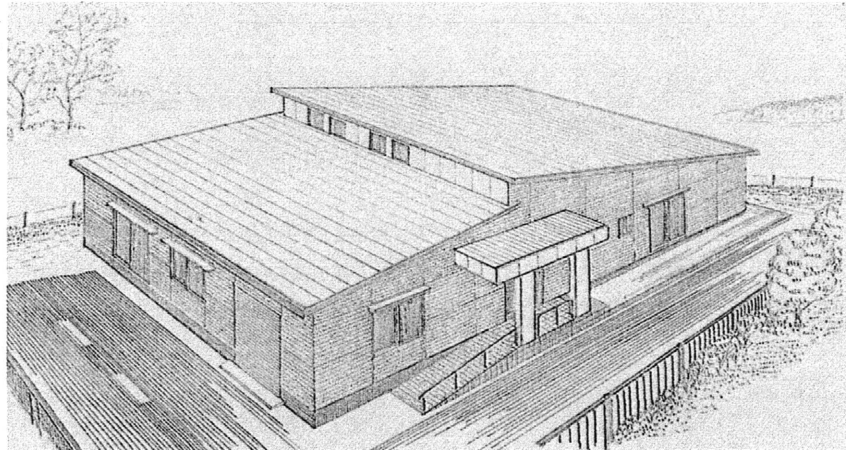
私たちの仲間  
総数 988名  
内訳

提供会員 401名  
利用会員 587名

## 「高齢者ふれあいの家・えがお」建設に向けて

完成予想図

北東側から見た建家イメージ



かねてから当会十周年記念事業として計画していた念願の「市民助け合いネット」の拠点が、来年の四月の完成に向けて、いよいよ十二月から建設に入りました。

・将棋など  
サークルの発表会や展示コーナー  
二、シニア向けの各種のセミナー勉強会を開催します。

この建設は、誰もが利用できる「多目的広間」に「助け合い活動の事務所」を併設したものです。また、老人福祉センター機能を有したもので、三、いろいろな楽しいイベントを行います。

●就労中の特に、男性の親の介護ノウハウ、認知症の方の介護など

時代に「助け合い」は介護保険とともに無くてはならない活動です。その「助け合い」を柱に、福祉の活動拠点として、高齢者が安心して暮らせ、元気シニアづくりにも寄与するものです。さらに流山市が進めている「高齢者ふれあいの家」としても当会が運営します。なお、敷地は流山市から有償で借用した約百七十七坪で、建設面積は約四十四坪の「平屋建」となっています。

●利用仲間や助け合い介護者のバスハイイクお祭り、映画会や子どもとの交流など  
四、シニアライフの各種相談ができます。

一、高齢者がいつでも、気軽に利用できるコミュニティイーカフェがあります。

●日常生活でのお困りごと、認知症の方を支援する市民後見・介護保険のご相談など

●お茶をしながらの気楽なおしゃべり、趣味の集い、健康体操、囲碁

五、NPO法人「市民助け合いネット」事務所があります。●独居高齢者、高齢家族、障害者の困ったときの支援の受付：派遣窓口、「病院などへの送迎」「病院内のサポート」「家事援助」「庭の手入れ」「粗大ゴミの処分」など。「困った時は、お互い様」の気持ちで低謝礼で支援します。

### どのような施設か

### なぜ造るのか

この活動は、「介護保険制度がさらに縮小していく中で、高齢化が進む地域にとってますます必要です。

一、シニアが元気で住みよいまちづくりの一助とするため「市民助け合いネット」の活動を広げる必要があります。

### 建設資金が不足しています。皆さまのお力添えをお願いします。



- NPOは利益を追求しませんが、「助け合い活動」以外の事業で、結果的に多少の余剰金は生まれます。NPO法人である当会にとって、その余剰金は地域に還元し、地域に役立ることがふさわしいと考えています。それを建設資金の柱として、不足分は流山市のNPO支援融資で借りる予定ですが、それでも少し足りません。
- 建設費は約2000万円が見込まれており、400万円ぐらいが不足します。
- そこで、「みんなで力を合わせて造ろう」の考えのもと、みなさまの温かいお志(ご寄付)をお寄せいただきたく存じます。

### みんなで造る「ボクんち」「わたしんち」「みんなんち」

- ご寄付については、1口5,000円です。(出来れば2口以上いただくと嬉しく思います)
- 事務所に来られる方は、ご持参いただければ幸いです。
- 来られない方は、お電話いただければお伺いいたします。
- できれば1月31日までお願いします。
- お問い合わせは事務所7153-5733までお願いします。

- 今の事務所では「助け合い」活動の受付とサービ
- 元氣シニアづくりのため
- 現在の事務所では手狭で、拡大している活動の処理に支障をきたしています。
- ホームページ、仲間通信などで建設の進捗状況を逐一お知らせします。

## 「市民助け合いネット」が10周年を迎えます。

2004年(平成16年)3月の設立から来年3月で10年を迎えますので、次の記念行事を計画しています。

1. 前述の「高齢者ふれあいの家・えがお」の建設
  2. 10周年記念誌の発行
  3. 10周年記念パーティ
- 現在、役員を中心にプロジェクトチームを立ち上げて、準備に入っています。具体的な実施内容が決まり次第、ご案内します。

# 流山市からの受託事業 「第二十二回流山ロードレース大会」成功裡に終わる



れ、おたかの森駅南口公園のメイン会場で開会式を行った後、定刻の午前10時につくばTXのガード手前をスタートしました。

一〇kmのコースは中央郵便局、セレモニーホール天翔、江戸川台テニスクラブ先を左折し、富士見台団地、ひまわり幼稚園、新川グラウンド、物流センターから、スポーツワールド、三輪野山住宅地を経て、メイン会場でフィニッシュしました。

また、ファンランは、会場周辺を周回する二kmのコースで行なわれました。男子の優勝者は大学生で、タイムは三二分七秒で、女性は三六分二秒の大学生でした。最高齢者は八三歳の市内の男性で、タイムは一時間二〇分一八秒でした。

ファンランは市内の中学生が加わり、合計六七〇人余りが運営にあたりました。

また、流山警察署、消防署、水道局、医師会などのご協力を得、コース周辺にお住まいの方や、多くの市民の方に交通規制などでご協力をいただきました。沿道では市民の方の熱い応援があり、多くの参加者から好評をいただきました。

このように全市民的な行事として行われ、流山の素晴らしさを流山市以外からの参加者にPRすることができました。

ご協力をいただいた多くの団体とそのメンバーの皆さま、ありがとうございました。

去る十月十三日(日)「市民助け合いネット」が、流山市から業務受託して総合マネージメントした「第二十二回流山ロードレース大会」が盛大に開催されました。過去最高の四〇九〇人(市外からの参加者七十%)の出走エントリーの内、三五一九人のランナーが秋の爽やかな風を受けて市内を駆け抜け、事故や怪我人も出ず無事に終わりました。当日は、前日までの残暑が嘘のような秋らしい好天に恵ま



家族連れでファンランに参加

その第一回目を十一月八日に行い活発な意見交換を行いました。

その第一回目を十一月八日に行い活発な意見交換を行いました。

## 認知症支援の「市民後見人」検討・勉強会を開催



高齢者の増加に伴い、認知症の方も増えていきます。「認知症支援」は、国も力をいれており、「成年後見人制度」があります。しかし、この制度は弁護士などが必要となるため、費用が高額になるなど使

いづら制度といわれています。そこで全国各地で、もっと身近な「一般市民」が後見人になり、面倒を見る取り組みが進められています。

今後ますます増えると思われる「認知症」の方のサポートを、当会としてできるものか?どのように関われるのか?などを検討するため、会員の中から五人の方に講習会を受講していただきました。この講習会を起点に、受講していただいた方々を中心にプロジェクトチームを組み、検討会をスタートさせました。

## 八木南団地自治会で「助け合い活動」始まる。

市南東部(富士見橋そば)の「八木南団地自治会」(二七三二世帯数・会長・青柳末喜氏)で、当会と同じ「助け合い活動」を行うことになり、アドバイザーと協力を要請され、当会の「兄弟団体」として、全面的に協力することにしました。

これは自治会としても高齢化が進み、高齢者対策が重点課題となってきたからです。自治会主体で行うことは市内では初めての事で、ご近所同士が「困った時はお互い様」の気持ちで助け合うことは、東北大震災でその「絆」の大切さが証明され、八木南団地自治会の皆さまの取り組みに拍手です。活動は、この春から準備に入ったもので、十二月スタートを目指しています。

## 事務所からのお願い

### 1. 年末年始の活動

- ・事務所と活動ともに、12月28日(土)から1月5日(日)はお休みです。
- ・特に、大掃除などの依頼は、12月中旬までお願いします。

### 2. 利用者さんへ

◆数ヶ月先のご利用依頼について  
半年も先など、かなり先の利用依頼が時々ありますが、手配ミスが発生しやすくなりますので、今後は最長1ヶ月先までの依頼とします。ご協力をお願いします。

### 3. 雪の日の送迎について

これから雪のシーズンになります。病院などへの送迎の当日、雪が降った場合、当会では送迎が出来なくなることがありますので、そのときは、タクシーなどをご利用いただきますよう、お願いいたします。